



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail: club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

第1003回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー 鈴木 健君

■ 会長報告

村松 章隆君

皆さん、こんにちは！本年度に入り、4回目の例会を迎えますが、1回目が1000回記念例会、先々週、先週と、ガバナー補佐・ガバナー公式訪問と続けて

の例会で、緊張することが多く、正直、今、ホッとしているところです。

さて、一昨日、昨年度の決算書の監査で、伊藤恒夫監査と伴野直前会長と一緒に事務局にりましたが、監査を終えて雑談に入り、やはりロンドンオリンピックの話題になりました。美人アスリートは誰がいいとか、伊藤監査は、100メートル選手の娘が良い、バトミントンの潮田は良くないとか、興味のある競技は？いろいろな話をして、楽しいひと時を過ごしました。自分の好みの選手、競技を応援する事は、楽しい事で、ジョイフルにオリンピックはさせてくれる祭典だと思います。そして、何より、なでしこジャパンが先陣を切って快勝した事は、昨日の男子チームも優勝候補筆頭のスペインチームを破る金星をあげました。まだ開幕セレモニーをしていないのに、サッカーを応援する人にとっては、大変楽しみに思っていると思います。これから、他の競技の選手にも勢いづいたことでしょう。少し、なでしこチームの話をしたとおもいます。

私は、佐々木則夫監督、スタッフ、サブメンバー、レギュラーが、一つになりチームワークが素晴らしく、昨年のワールドカップの優勝が証明した通り、より興味を持つようになりました。なでしこチームは、沢選手の存在が大きく、勝負の機微を身体で覚えていて、守備、攻めるときの判断プレーは、チームを救っていると強く感じましたし、選手全員の戦略と戦術を理解しており、連動制が

あり、バックラインの押し上げ、前線の選手はプレッシャーにより、中盤を制する事が出来、フリーで蹴らせないように、することで、後方の選手はパスコースを読めるので、攻撃も早く移る事が可能になりポゼッションが日本に優位になっている為、なでしこチームのペースで試合運びが出来たと思います。

チームが一丸となると、計り知れないパワーが出ることを思い起させていただきました。

自分の会社もなでしこの様なチームになれば、会社も健康でいることができると確信しました。日本選手の活躍を祈念して会長報告挨拶とさせていただきます。

幹事報告

内山 淑夫君

- 第2620地区より
高野ガバナーより公式訪問のお礼文が届いております。
- 第2620地区より
8月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$ = 80円です。
- 第2620地区より
富士山絆の日の報告が届いております。
- 社会福祉法人ハルモニアより
第2回ウェルフェア塾のご案内とウェルフェア塾便りが届いております。
- 山梨ダルク本部より
会報が届いております。

出席報告

望月 誠君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32 / 41 78.04%	32 / 41 78.04%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

伊藤彰君 漆畑君 樽井君 殿村君
富澤君 森竹君 池谷君 植田君 川口君

(2)メイクアップ者

森竹正晃君(焼津・静岡西)

玉木 末雄君(焼津) 小池 吉久君(焼津)

山田 壽久君(焼津)

ビジター

仲田 廣志君(藤枝)

スマイルBOX 望月 誠君

- 南クラブの皆様、今年も例年同様おつきあいいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

藤枝ロータリークラブ 仲田廣志君

- 誕生日プレゼントありがとうございました。年令とともに診察券も増えていきます。

渡辺 哲朗君

- 皆出席プレゼントありがとうございました。入会以来続けてします。今年もガンバります。

玉木 末雄君

- 私並びに家内の誕生日祝いありがとうございました。程好く夫婦関係を維持しています。

早川 清人君

スマイル累計額 140,732円

藤枝RC会長挨拶



皆さん、こんにちは。本年度、藤枝クラブの会長を仰せつかりました仲田でございます。今年度は、ガバナー公式訪問が7月18日と例年より早かったため日程の調整がつかず、南クラブさんへのご挨拶が今日になりましたことお詫び申し上げます。また、本来であれば私の幹事の池ノ谷の二人でお伺いすべきところ、どうしても外せない仕事が急遽入りまして、私一人でのご訪問となりましたことお許し願います。

さて、南クラブさんには、昨年度、私共の40周年事業の際には大変お世話になりご協力いただきましたこと改めまして御礼申し上げます。

私共藤枝クラブは、今年39名でのスタートとなります。40周年を終えて41年目ということで大きな事業もございませんが、私的には、今年純増3名位を目標に活動していきたいと考えております。南クラブさんとは、これからもお互いそれぞれ活動に勤しむことは勿論ですが、何か一緒にやれること等ありましたら協力しあって共に伸びていけたらと思っております。南クラブさんは、女性会員は、受け入れないとの方針とお聞きしています。藤枝クラブは現在2名の女性会員が在籍しています。クラブとして女性会員の拡充も図って行きたく考えているところです。南クラブの皆様で、ご紹介いただけるような方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介いただければ大変ありがたいと思います。

最後に南クラブの皆さんにとって、幸多い年度となりますようご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。今後とも宜しく願い致します。

■会員卓話 我が人生「泣いて笑って」

鈴木 健夫君



自己紹介

みなさんこんにちは、本日はこういった貴重なお時間を頂きましてありがとうございます。皆様のお仲間に入れて頂き3ヶ月程経ちますが、この場をお借りしまして、あらためて、まずは自己紹介をさせていただきます。

昭和43年11月16日生まれ、43歳、申年、血液型A型、家族構成は、妻一人息子が二人、小学生5年生と幼稚園の年中です。4人暮らしです。

両親ともお陰様で健在です。

仕事は、藤枝の駅前で洋品店を営んでおります。主に婦人服と学生服を(小学校、中学校、高等学校の制服や体操服など)販売しております。

趣味は読書と 最近はあまり遠出できなくなりましたが、旅行です。

我が人生 泣いて笑って という お題をいただきましたので、先輩方の前で未熟者が恥ずかしいですけれども、我が人生について 色々な思い出を交えて話をさせていただきます。

我が人生 「泣いて笑って」

まず、人生といえば「旅」です。

Life is often compared to a journey! 人生はしばしば旅に例えられる。

昔、高校の英語の授業で習いました。

人生といえば旅、旅といえば人生。

古今東西、人の一生は旅に例えられてきました。旅とは楽しく刺激的であると同時に、厳しくも苦しいものであります。

若かりし頃のある日、私は日本人ならば、富士登山をしなければならない、と思い富士の頂きに立ちました。

山頂から下界を見下ろしていると、今度は、地べたを歩きたくになりました。

当時、東京に住んで居ましたので、とりあえず東海道を歩いて藤枝まで帰ってみよう、と思いました。

上野のアウトドアショップへ行き、どんなに長距離を歩いてもコレなら大丈夫と店長に薦められたドイツ製の頑丈な登山靴を買われました。暮れも押し迫った 12 月 29 日、東京日本橋をスタートしました。保土ヶ谷、小田原、箱根を超えて三島で年越し、清水、そして正月 2 日、ようやく藤枝へゴール。

実際に歩いてみますと、色々発見がありました。だいたい普通に歩いて、10 分で 1km、50 分で 5km 歩いて 10 分休む、時速 5km そんな調子で一日 8 時間歩くと 40km。実際は途中食事したりしますので 10 時間程かかって 40km です。

人間が普通に歩いて一日で移動できる距離はだいたいこのぐらいだ、と知りました。

ちなみに、元禄 14 年(1701 年)江戸城松の廊下にて勅使供役浅野内匠頭長矩(ながのり)が高家筆頭吉良上野介義央(よしひさ)に刃傷沙汰に及んだのが、3 月 14 日午前 10:00 頃、赤穂の大石内蔵助が、その第一報を聞いたのが、3 月 19 日ですので、5 日間で江戸 - 赤穂 155 里(620km)を移動しました。これが一体どれ程重要で、どんなスピードが本当に体で理解できました。

世の中変わり者がいらっちゃって、栃木的那須から実家のある名古屋まで歩いて帰るという方に途中追い越されました。彼は、プーマのジョギングシューズを履いていました。やっぱりアスファルトの上を歩くにはこういう柔らかい靴でないダメでしょ。って。

考えてみますと、登山靴はやはり山用です。

色々ありましたが、次は国外にでました。主にアジア中心でしたが、最も思いで深いのが、ミャンマーです。

そこで、お会いした方々の話をさせていただきます。

ウサンペイさん。この方は日本軍がミャンマー、当時ビルマへ侵攻した際、その部隊の将校に、通訳になればと、言われ日本語の本を渡され、明日までにここまで覚えて来い、と言われ、毎日怒られながらも、日本語を勉強させられた方です。まだ、十分日本語がしゃべれていました。ある日、法事がしたいと言われました。

約 5 0 0 人の日本兵が亡くなった場所に碑を建てたので日本人の君と一緒に来て欲しい。とお坊さんと一緒に連れていかれました。これがそこです。

お経をあげてスピーチのようなものをさせられ、僭越ではありましたが日本人の代表のような事をさせられました。

この写真の方は、高知県出身の吉岡さんです。ビルマの竖琴の水島上等兵のように終戦後帰国せずにビルマに残ったかたの一人です。

当時、何人もいたそうです。

吉岡さん、当時、新婚でしたが、徴兵され、ビルマへ。

そこで、憲兵のような仕事をさせられ、現地の物売りが基地内に入るのをチェックしたりする係りだったそうです。野菜や果物を物売りに来る中に若い可愛い女性がいて、若い男女、そんな仲になってしまったそうです。

いざ、前線へ出陣だ、という頃その女性の腹はずいぶん大きくなっていたそうです。

前線からは生きて帰れるかわからない。そんな中、生まれて来る子が男なら日本へかえろう。女ならここに残ると、心に決めました。

幸いにして、前線から生きて帰ることができました。大勢の出迎えの人の中に、赤ん坊を抱いている彼女を見つけました。

あの瞬間はほんとうにドキドキしたとおっしゃってました。
男か女か？
女でした。
高知にいる新婚の奥様はどうしたのかって聞きました。
軍人恩給等は全部上げた。と言っていました。詳しいところはわかりません。
人生色々、日本を離れ、三ヶ月程経過した頃です。あちこち見て回って、随分遠くまで来たな～。なんて思っていました、何十年も前に日本の兵隊さんが来て戦争して、中には死んでしまったり...アジアを旅すると必ず戦争のことに触れてしまいます。
旅行期間中は、毎日毎日、新しい場所に行き、新しい出会いや発見がありました。
ある日、ふと、これでいいのか？
こんなことしていてほんとうにいいのか？って思うようになってきました。
ある晩、当時付き合っていた、彼女に(今の奥様)電話しました。そろそろ日本に帰りますって。
わすれもしない、ばんこくの夜、
一人さみしく安宿へ帰ると途中、よだれを垂らしウツロな目をした野良犬に右ふくらはぎを後ろからガブリ！
宿のおばさんが You must go to hospital!
外人が must を使ったのを聞いたのはその時が始めてでした。 you must ですよ。
夜、もうだいぶ遅かったですが、病院に行きました。
タイ人の非常にキレイな看護婦さんが、優しく注射を打ってくれました。
日本国内では、昭和31年(1956年)を最後に狂犬病の発生がありません。
輸入感染事例としては、狂犬病流行国で犬に咬まれ帰国後に発症した事例が、昭和45年(1970年)にネパールからの帰国者で1例、平成18年(2006年)にフィリピンからの帰国者で2例あります。
狂犬病は、潜伏期間は長いと一年、発病すれば死亡率100%です。
でもワクチンを打てば大丈夫。
そのワクチンは当日、3日と打たなければなりません。

もう帰国を決めて三日後の帰りのチケットも買ってありました。
三日目まで打って無事帰国。
問題は一週間後以降のワクチン接種です。
近所の内科へ問い合わせ。
1ダースの取り寄せになるから1ダース買ってくれ
じゃなければ、横浜か東京八重洲にある日本免疫センターへ
新幹線で行って、念のため5ccで¥5000もする破傷風の注射も打たれました。
当初1~2位は世界を見てやろうなんて、意気込んで出国しましたが、結局4ヶ月で帰国になりました。理由は、このまま旅を続けていても、日本に帰っても旅をしていることには変わりはないと気づいたからでしたが、
実際は、帰国することにしたと電話をした直後に野良犬に噛まれましたけれど、奥様にはどうも犬に噛まれて帰国したと思われる節があり、今だに犬に咬まれて負け犬のように帰ってきた、まさに負け犬、呼ばわりされております。
人生は、よく旅に例えられます。
あちこち観光名所に行かなくても、毎日毎日、新しい発見、出会い、本日ここにこうしていらっしやいます諸先輩方に出会ったこともなど含めて、新鮮で、希望に満ちた毎日が、挑戦、時には辛く苦しく泣きたくなったり、そう言えば、旅行中も随分色々な人に助けられました。
今、思い出すのは、全て素晴らしく楽しい思い出です。
人生の旅の最終局面でも同じようにいい旅だったな、って思いたいものです。

(担当/池ヶ谷君)